

なかしべつ 議会だより

No.144
令和7年1月



議会改革の先進地栗山町議会が視察に訪れました

主な内容 12月定例会 (P2)
一般質問 5名 (P3~5)
決算審査特別委員会報告 (P8~9)

議会ホームページ



12月定例会 全議案可決

補正予算など

令和6年12月定例会を12月9日から13日まで開催。以下の議案について審議し、議決しました。

■令和6年度各会計補正予算

◇一般会計補正予算（第6号）

1億274万6千円を追加し、総額164億5910万7千円となりました。

（単位：千円）

	総務費	民生費	衛生費	教育費	公債費	計
補正額	13,898	83,556	2,201	5,936	△2,845	102,746

【主な補正内容】

＜高齢者世帯等生活応援給付金給付事業＞

【事業費：1989万6千円】

対象：高齢者 1441世帯、障がい者 35世帯、ひとり親 108世帯
生活保護 216世帯 計 1800世帯（町民税非課税世帯）

給付：1世帯当たり1万円

＜根室管内広域連携人材確保事業＞

【事業費：129万6千円】

道広域連携加速化推進事業（行政職員人材確保）

イベント委託料（別海町・中標津町・標津町・羅臼町4町で均等負担）

＜地域活性化起業人派遣事業＞

【事業費：93万3千円】

負担金：年間560万円/人（上限額）×2/12ヶ月分

地域課題やニーズの調査・分析、地域おこし企業設立に向けた運営計画を策定

＜国庫負担金の返還金＞

【返還金：5260万円】

子どものための教育・保育給付交付金

◇介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

補正内容：居宅サービス事業費増 15万9千円

◇町立中標津病院事業会計補正予算（第1号）

補正内容：材料費、経費の減 △1357万2千円

■その他

◇工事請負変更契約の締結（豊岡35線道路改良工事）



12月定例会で以下の項目について町長および教育長から報告を受けました。

一般行政報告

1. 要望等について
2. 寄贈金品について
3. 作況状況について
4. 外国人財誘致推進事業について
5. 令和6年度建設工事の発注状況について

教育行政報告

1. 芸術文化振興事業について
2. 各種大会等の出場結果について



詳しい内容はこちらのホームページに掲載しています。
<https://www.nakashibetsu.jp/gikai/gyouseihoukoku/>

一般質問

全文はこちらのホームページに掲載しています。
<https://www.nakashibetsu.jp/gikai/ippansitumon-ikensyo/>



質問 未来に向けて時の道しるべを整備しませんか

答弁 中標津町全体として取り組みを進めます

まつむら やすひろ
松村 康弘 議員

質問

最近、様々な場面で未来の町民に語り継いでいくべき事象があるのではないかと想い、この質問を準備いたしました。

中標津空港に至る道路の両側には、千歳に至る道中に見られるような企業看板は見当たりません。

これは、ターミナルビル完成時の横路元知事の想いが込められています。

同時に植えられたハマナスは、徴用された中国や朝鮮半島の人々が標津の海岸から砂利を運び、コンクリートの滑走路の両側にハマナスが咲いたことを記憶



教育長答弁

するためのものです。他にも様々な事象を、時の道しるべとして通りかかる町民に想いを発信していくべきではないでしょうか。

中標津町文化財保存活用地域計画に基づき民間の中標津しるべつなぎ会が発足し、官民協働により活発に調査活動を進め、文化財情報小冊子の作成や文化財フォーラムを開催する予定です。

ご提案のありました取組のネーミングも参考とさせていただきます。活動を継続することにより見出される新たな価値や様々な事象を地域全体で保存・活用していくことで、町の固有性や魅力に磨きをかけ、次世代に繋いでいく活動を町全体で取り組むことを目指したいと考えています。

質問 半導体・デジタル関連産業へ積極的な取組を

答弁 後れを取らないようしっかりと対応します

えぐち ともこ 議員



質問

北海道は、ラピダス社に象徴される半導体・デジタル関連産業の経済効果を、札幌や千歳市の一極集中とならないよう、その経済効果を全道に波及させるとしています。

ＩＴ専門学校を擁する当町でデジタル産業の振興に取り組むことは、学生獲得の追い風になり、Ｕ・Ｊタインの促進にもつながるもので、積極的に調査すべきと考えますが、Ｇ×金融・資産運用特区およびデジタル産業振興に対する町長の所見をうかがいます。

町長答弁

北海道は現在、金融・資産特区の対象地域となったことを受け、Ｇ×産業の集積を効果的に図るため、全

道域を対象とした基本計画の策定に着手しています。新しい雇用の創出・地域ブランドの向上等効果的に活用可能であれば、その効果を享受すべきと考えます。

再質問

計画を注視することにも、当町のニーズや適性を見極めるため、デジタル業界に明るい講師を迎え、官民挙げて学ぶなど知識や経験の蓄積を図ることは、人口減少対策とも親和性が高いと考えますが、いかがですか。

町長答弁

既に病院の遠隔診療が行われていますが、農業分野も含めてこれから更にＤ×化が進むと考え、後れを取らないようしっかりと対応することが、町の振興発展・新しい仕事の発掘にもつながるものとして、今後も努力します。

他の一般質問

●地域おこし協力隊を地方創生の力に

質問 太陽光発電に対する本町の関わりは

答弁 景観と環境へ十分留意し協議します

ながぶち 長 議員



質問 1

太陽光発電は、国を挙げて取組が加速しています。パネルには猛毒物質が含まれるなど、環境汚染問題が挙げられ、また、転売や契約トラブル・故障や災害による破損後放置されている事例も発生しています。これらを踏まえ、当町に設置されている太陽光発電の運用実態をお聞きします。

町民生活部長答弁

様々な問題が起きたことから法整備が進み、関係行政庁と連携し対応を図っています。

質問 2

環境に与える影響をお聞きします。

設置場所に河川がある場合、林地開発の前提となる河川協議はどのように行われていますか。

また、雨水処理対策と溜水汚染の測定など、安心を確認できる方法もあると思います。

事業者は30年スパンで計画し、不測の事態に対応するため、適切な整備が求められています。

後世に本町の大自然を残す観点からも、行政対応が重要となってきます。

町長の見解をお聞かせください。

町長答弁

住民不安の解消の観点から、水質調査の実施を求める要請を検討し、今後も景観と自然環境を守りながら、保全と開発のバランスを念頭に進めていきます。

質問 交流人口の活性化を

答弁 町有会館の宿泊営業の実施は考えていません

ひらやま ひろみ
平山 光生 議員



質問

本町には様々な文化スポーツ大会が開催できる施設がありますが、大きな大会開催時には宿泊施設が不足しています。

また、子ども達の遠征・合宿に適した和室を保有する宿泊施設が僅かという現状もあります。そこで、町内にある町有会館や町内会館の簡易宿所営業登録をはいかがでしょうか。

町長答弁

以前より許可基準が緩和されていますが、宿泊施設として最低限備えなければならぬ設備や備品・管理体制・緊急時の対応等課題は多い状況です。既存の宿泊事業者との兼

再質問

ね合いも十分配慮する必要があります。町有会館の宿泊営業の実施は現在考えていません。課題は関係者間で事前に情報共有し連携を図るなど、町全体で取り組む必要があると考えています。

既存の宿泊事業者とのすみ分けや業務内容の委託も検討可能だと思いますし、U・Jターンの動機となり得る貴重な経験が、町内会の課題解決にもつながると考えます。

事前共有・連携だけでは解決できないと考えますが、町長の見解をお聞かせください。

町長答弁

必ず中標津に宿泊するのではなく、共存共栄する中で、地域の圏域連携も非常に重要で、連携をつまぐアピールしながら進めていきたいと考えています。

他の一般質問

●専門的知見の活用と情報発信力の強化を

質問 搜索民間ボランティア団体に支援を

答弁 必要に応じ協力をお願いします

くりす ようすけ
栗栖 陽介 議員



質問

先日、町内で発生した子ども搜索事件で、ある母親の言葉を思い出しました。『子どもが行方不明になったとき、パニックになりました。搜索願を出すにしても搜索中にひよっこり帰ってきても恥ずかしい。でも民間の団体なら気軽に頼みやすいし、これだけ心強い。』

現在、民間の搜索ボランティア団体を立ち上げようと動き出している人達がい

ます。その団体には徘徊老人の搜索や、不審者が現れたときには見回りをしてもらうという、住民の支え合いの

取り組みが住民自治であり、共助です。町民にとって安心安全な町になるためには民間の努力の共助、町で支援する公助の積み重ねの先に中標津に住み続けたい人が更に増えるのではないのでしょうか。実際に搜索民間ボランティア団体が必要であるとの声もあり、それを町で支援することが必要と感じています。

町長のお考えはいかがでしょうか。

町長答弁

行方不明者の搜索は、警察の指揮下の活動が搜索の一元化から好ましく、また、犯罪関連など専属的な任務と判断され、要請に基づき活動範囲に止めるべきと考えます。

支援としてはSOSネットワークに加入・町と情報共有・連携など、必要に応じ協力をお願いしたいと考えています。

東京・札幌中標津会



東京中標津会
令和6年11月16日(土)
アルカディア市ヶ谷



札幌中標津会
令和6年11月23日(土)
ホテルライフオーソ札幌

東京中標津会（85名）、札幌中標津会（44名）の総会・懇親会に、議会から各4名参加し、条例に基づいて、通称「牛乳で乾杯条例」制定10年の意義を話題に牛乳で乾杯しました。

アトラクションや恒例の福引を楽しみ、東京では「故郷」を、札幌では「ふるさと中標津」を合唱し、会員の皆さんと楽しく懇談、和やかなうちに終了しました。

あべ たかひろ 議員、まつむら やすひろ 副議長

ご存じですか？議会活動の見える化

議会議員の活動状況などをホームページで公開しています！知っていましたか？

- ・一般質問回数【定例会で町長等に行政全般にわたる質問をしています】
- ・委員会等出席状況【委員会や本会議などの出席状況です】
- ・議決結果・賛否状況【本会議で上程された議案の各議員の賛否状況です】

適宜更新し、皆様に議会活動・議員活動の状況をお知らせしていきます。

まだ見たことのない方は、ぜひ一度、ご覧ください。

詳しくはQRコードからホームページをご覧ください。

<https://www.nakashibetsu.jp/gikai/mieruka/>



●補
充
員

林 ^{はやし}	池 ^{いけ}	西 ^{にし}	大 ^{おお}
	田 ^た	村 ^{むら}	山 ^{やま}
聖 ^{せい}	秀 ^{ひで}	英 ^え	敏 ^{とし}
司 ^し	人 ^{ひと}	津 ^つ	彦 ^{ひこ}
氏	氏	氏	氏

●委
員

板 ^{いた}	東 ^{とう}	渡 ^{わた}	豊 ^{とよ}
野 ^の	海 ^{かい}	邊 ^へ	田 ^た
富 ^{とみ}	旭 ^{きよく}	安 ^{やす}	高 ^{たか}
子 ^こ	城 ^{じょう}	二 ^に	明 ^{あき}
氏	氏	氏	氏

任期
令和6年12月23日から
令和10年12月22日まで

選挙管理委員会委員及
び補充員の選挙

根室町村議会議長会主催 議員研修会

日時：令和6年10月25日(金)
13:00～15:00

場所：羅臼小学校
「優・遊・悠」多目的ホール

演 題 「議会が住民の代表機関であるために」
講 演 第1部 「議会基本条例の誕生まで」
第2部 「議会の危機と今なすべきこと」
講 師 北海道町村議会議長会参与 勢籙^{せ はた りょうぞう} 了三 氏

根室町村議会議長会主催の議員研修会が開催されました。
勢籙了三講師による2部講演を根室管内4町（中標津・別海・標津・羅臼）の参加した議員45名が聴講しました。

根室町村議会議長会会長である後藤^{ごとう}議長の挨拶から研修会が始まりました。

第1部「議会基本条例の誕生まで」では「改革を迫られた2000年代の自治体」から始まり次の6つの項目の講義をしていただきました。

- 改革を迫られた2000年代の自治体
- 地方分権改革
- 三位一体改革
- 平成の大合併
- はじまりの議会基本条例
- 議会基本条例の制定状況



第2部「議会の危機と今なすべきこと」では「議員のなり手不足問題」から始まり次の5つの項目の講義をしていただきました。

- 議員のなり手不足問題
- 立候補の障壁
- 議員のなり手の発掘と育成
- 意思決定の過程
- 意思決定とその過程の情報共有

それぞれの項目について概要・基本・事例、特に北海道の様々な実情・事例をあげて説明していただき、目が覚めるような納得のいく講義内容で、当町にも当てはまるような事例もあり、これからの議員活動の助けになる非常に理解を深めることのできる講義でした。

心を新たに議員活動に臨む決意の生まれるような研修会で、研修会終了後は別会場に移動し、交流会が開催されました。

交流会では4町議員と情報・意見交換をし、さらに親睦を深めることができました。

栗栖^{くり す} 陽介^{ようすけ} 議員

決算審査特別委員会報告

審査期間 令和6年9月30日～12月4日まで

審査経過

令和6年9月30日に決算審査表を受け取り、10月4日に各会計の決算概要の説明を受けました。委員は10月7日までに質問事項を作成後、分科会で質問事項を精査しました。11月6日に部局で作成された決算審査表（答弁）の事前配布を受け、分科会で説明要否協議を行い、その後、全委員で議場で本審査に臨みました。

審査結果

令和5年度中標津町一般会計外8会計について、各委員より178件の質問を受け慎重に審査した結果、様々な財政需要に対し厳しい財政状況での行政運営となった中、各会計ともに効率的な予算執行が行われていることに敬意を表します。

歳入

町税は調定額が令和4年

度と比べ同程度ですが、収納率は前年度より0.2%向上し97.6%となり、また、国民健康保険税で0.1%、介護保険事業保険料で0.3%の収納率向上が見られます。

しかし、学校給食費負担金では1.6%減の収納率91.4%となっています。公平公正な負担を求めることに加え、より厳しい対応も視野に徴収業務にあたっていたと思います。

一般会計、特別会計を合わせた収納率は0.2%向上し、調定額及び収入済額も減少していますが、収入未済額減少に取り組まれた担当職員皆様の努力を高く評価します。今後も厳正な徴収体制の維持及び歳入確保に向けた一層の努力を期待します。

また、一般の審査で雑入の内訳を確認しましたが、その中に地方自治法第224条及び同法第228条に基づき条例制定を要す

るのではと疑義のある事案が判明しました。地方自治体の請求事務や歳入手続きには法的根拠が必要ですので、今一度、雑入をはじめとした歳入予算科目を法的根拠と照合し点検していただきます。

令和5年度ふるさと納税実績は寄附件数5,809件（前年度7,126件・18.5%減）、寄附金額1億1,267万9,800円（前年度1億2,110万9,500円・7.0%減）になり、当初予算寄附額3億円の目標に大きく届かない残念な状況となりました。中間事業者の変更にによる口コミの削除等大きな弊害があったことを考慮しても、当初予算額が確保できないことは財政運営に大きな影響を及ぼします。

今後、さらに魅力ある返礼品の充実とキャッチされる効果的な広報の実践に取り組む、幅広い住民ニーズに応える財源確保に向けた事業展開に期待します。

病院事業会計は入院患者数、外来患者数ともに前年度を上回り、一年をとおして順調な経営状況となった

ことから、医業収益が過去最高となりました。

また、依然として多額ではありますが一般会計繰入金額が前年度より減少している点は称賛に値します。業務効率化による待ち時間の短縮や医師・看護師を含めた医療スタッフで経営状況の情報共有を図るなど、院内努力の成果が表れています。

今後、新型コロナウイルス感染症関連補助金の減額の影響がどの程度経営に影響を与えるか不透明な部分もありますが、これまでの病院経営改革を礎に、より強固な経営体制を目指し、地域の基幹病院としての発展に大きく期待します。

歳出

1. 人口減少対策調査研究事業について

イベント開催趣旨を婚活から若い世代の交流機会を創出する目的へと和らげたことで、次年度につながる事業となつていくことは説明を受けました。

しかし、本事業の目的である有効な対策立案につな

がっていないことから、例えば趣味に特化した出会い等、従来と違った手法も取り入れるなど柔軟な発想での取り組みに期待します。

2. 防災経費について

災害用備蓄品の更新では廃棄処分せずに出前講座や訓練で使用する等、防災に活かした処理をしている点、また、中標津町災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル及び避難所運営マニュアルが作成されたことは評価します。



今後は災害発生時に備えた訓練を重ね、実効性が高められたマニュアルになることを期待しますが、住民がマニュアルに沿った主体

的な行動が取れるよう、町ホームページへ分かりやすく掲載するなど、広く町内会や住民に内容を周知し、共助の意識向上を図っていただきたい。

3. 職員人材確保・育成事業について

職員の新規採用は昨今の就活事情を鑑みると、辞退者が出ることは残念ながら避けられないことであるが、職員の出身校等人脈を活かした人材獲得に積極的に取り組み、一定の成果を挙げていることは評価すべきであり、今後も継続していただきたい。

一方、毎年数名の若年層が離職する事態が続くことで、職場環境の年齢構成バランスは崩れ、多くの業務を抱える町職員にさらなる負担を強いることにもつながってまいります。

家庭事情等不可避免な場合は除き、民間企業への転職に至った経緯と本人を取り巻く環境などの転職要因を丁寧に調査し、全庁的な課題である優秀な人材流出を防ぐ努力を求めたい。

4. 介護人材確保育成支援事業について

高齢者福祉の充実に向け、介護人材の確保・育成・定着の促進と多様なサービスの提供など必要な支援が求められています。

様々な職種で人材不足と言われている現在、介護人材も例外ではなく、各事業所では余裕のない運営体制で当町の介護現場を支えている状況です。介護福祉士実務者研修資格取得者が実際の介護現場につながっているのか、追跡調査実施の意向は確認できましたが、今後も町内事業所と連携を図り自己負担額の軽減を図るなど、制度充実に向けた取り組みへの期待と併せ、外国人材の育成確保も視野に取り組んでいただきたい。

5. 空港利用促進対策経費について

中標津空港利用促進期成会負担金の事業内訳を審査した結果、一般会計では管内四町で行う要請活動が主で、利用促進事業特別会計では利用促進事業と空港活性化事業が主となり、特別

会計への負担金は当町のみが負担しています。

事業内容を確認すると特別会計で実施している内容は、中標津空港利用促進と関係人口拡大、誘客促進事業が核となっています。結果的に根室管内の魅力発信と当町の観光PRは相乗効果があると考えますが、限られた町担当職員が直営で行うよりも、なかしべつ観光協会などに観光PRに関わる事業の委託を検討するなど、現実的により効果的な負担金となるよう研究していただきたい。



6. 多文化共生推進事業について

本事業は令和5年度より開始されたもので、町内で

は既に多くの企業や飲食店で外国の方が働いている現状や、買い物を楽しむ姿を見かける機会が増え、一定の事業効果が推察できます。

一方、外国人材誘致推進現地プロモーションに係る旅費の執行にあつては、ハイシーズンに渡航した理由が「相手先の意向」と「初年度だったため」という答弁でした。ハイシーズンに航空券の価格が跳ね上がることは常識で、多額の予算措置をしている事業であるため、執行方法は事業途中であつても適宜見直しを検討し、最小の経費で最大の効果を生む予算執行の原則に立ち返り、より慎重な執行に努めていただきたい。

7. 景観形成推進事業について

令和5年度の景観審議会開催は町長の諮問に応じて年1回この答弁でしたが、急激な町の変化に対応していくための適切な調査・審議には定期的な開催が必要と考えます。

また、近年、太陽光発電パネルが多く設置され、中標津の街の景観が大きく変

化しています。届出事業者から発電事業者への権利譲渡など行政指導が難しい状況は理解できますが、常緑樹による緑化、修景などの指導徹底、現状確認を含めて再度検討していただきたい。

以上、各会計ともに効率的な予算執行が行われ、町民生活の向上が図られていると判断して、認定すべきとの結論に達しました。

決算審査特別委員会
委員長 佐野 弥奈美



秋の植樹に参加しました

10月22日に旧武佐小学校の学校林跡地にイタヤカエデ150本、アオダモ100本合わせて250本の植樹を行いました。

中標津町と標津町は、基幹産業である農業・漁業を守るために標津川流域全体の環境保全を目的とした両町の行政および農業・漁業関係団体で「産業環境に関する懇談会」を設置し、河川環境保全活動に取り組んでいます。

その一環として中標津町では行政・議会・農業関係団体による「秋の植樹」を昨年に続き開催しました。

当日は議会広報特別委員会と開催日が重なり、議会議員参加者が議長他4名の少数でしたが、強風で肌寒いなか参加された皆さんと元気に植樹作業を終えることができました。

特に今回は、アオダモのコンテナ苗（細長い柱状苗）が植付機具の使用により、効率良く植えられたことが時間短縮になったと思います。

準備をされた関係機関の皆様ありがとうございました。
少数で不安な中、参加された皆様お疲れさまでした。

中標津地域森林・林業・林産業活性化議員連盟

会長 高橋 善貞 議員



根室地方森林・林業・林産業 活性化推進議員連盟協議会研修会

日時：令和6年10月31日(木) 12:00～15:00 場所：羅臼町郷土資料館・羅臼町民体育館

視察 「重要文化財 松法川出土品について」

説明者 羅臼町郷土資料館 学芸員 天方 博章 氏

講演 「根室地域におけるヒグマの生態について」

講師 公益財団法人知床財団 主任 梅村 佳寛 氏

羅臼町郷土資料館にて、縄文時代からの出土品の説明を受け、アイヌ文化以前の古代文化の移り変わりや暮らし方を視察後、体育館に移動して「人とクマとの折り合い」をどのようにつけていくかの対策について大きな転換期になるとの説明を受けました。



人間が与えた1本のソーセージにより、山から人里に降りてきたクマが駆除された話は、餌や生ごみの処理など人を守るために、改めて守らなければならないことの気づきがありました。

中標津地域森林・林業・林産業活性化議員連盟 副会長 松野 美哉子 議員

第2回中標津町議会モニター会議

令和6年8月の町議会議員選挙を経て初となる、第2回議会モニター会議を開催しました。

議会モニター出身の武田^{たけだ}開^{がいと}氏が町議に当選されたことから、モニターは11名となり、うち6名の出席をいただきました。

議長挨拶、出席者紹介に続いて、「町議会議員選挙について」を主なテーマとして意見交換を行いました。

10月27日に実施された衆議院議員選挙（52.92%）よりも、町議選の投票率が低かった（47.79%）ことを受け、モニターからは、もっと投票者を増やすべきだとして、次の多岐に渡る意見をいただきました。

- 投票所で見かけるのは高齢者が多く、若い人が少ない。SNSを活用するなどして、もっとアピールが必要ではないか
- 町政に対する思いはあっても、議会が代弁者だという認識が薄く、投票行動に繋がっていないのでは
- 投票をした世代の調査・分析をすべき
- 学生に選挙の大切さを教える主権者教育が大切だ

議員からは、自身のSNSやホームページ、後援会などを発行する等して周知に努めた声のあった一方で、議員によっては自身の活動や思いを伝えることを全くしていなかったという発言もあり、昨年版権等審議会から提示された付帯意見「議員一人ひとりが、町民の思いを受け止め、町民のための議員活動及びその成果を積極的に町民に発信していただきたい」に対し、今一度深く受け止める必要性を感じました。

投票率の向上については、議会と選挙管理委員会・教育委員会が一体となった取り組みを必要とするため、現在、総務経済常任委員会が選挙管理委員会の所管分を、文教厚生常任委員会が教育委員会所管分に関し、それぞれ調査を行っています。



議会モニターからいただいた意見を参考に、次回の選挙に向けてどのような改善が図れるか、関係機関と種々協議を継続します。

モニター会議では、ほかにモニター出身の平山^{ひらやま}光生^{ひろみ}議員からも挨拶がありました。

議会モニター出身の議員は、現在3名となりました。

議会モニター制度は、モニター活動を通じて議会を身近に感じたモニターの皆さんが、議員を志すきっかけとなり

得る側面も併せ持つことを意識し、今後も活発な活動に期待します。

ご参加いただいたモニターの皆さん、お忙しいところありがとうございました。

議会運営委員会 委員長 ^{えぐち}江口 ^{ともこ}智子



総務経済常任委員会

活動レポート



総務部

●ふるさと応援制度推進事業について

本年度上半期寄附金の状況と令和7年10月1日より適用される、ふるさと納税の指定基準の見直しの説明を受けました。

委員 旅先納税を活用している考えはありますか。

担当 旅先納税は現地決済型で手数料がかかるため、手数料がかからないチョイスPay導入のタイミングは未定ですが、事業者との兼ね合いなども含め、現在協議を進めています。

委員 高額返礼品ウイスキー樽の権利が加わった経緯と樽の個数制限はありますか。

担当 新規返礼品の開発過程で、事業者より紹介を受け協議を重ねた結果、8月末リリ

ー入となりました。また、高額寄附を検討していた方にアプローチした結果、9月の実績につながることであります。数量は毎月の定数があるとうかがっています。

●防災について

北海道防災会議主催「第2回北海道防災総合訓練」の開催の説明を受けました。

訓練は12月21日（土）から22日（日）開催で、厳冬期における日本海溝・千島海溝沿いのM8を超える巨大地震による大津波発生を想定し、管内5市町で実施、当町は医療救護訓練と物資輸送訓練を重点的に実施します。

見学は空港ターミナルビル屋上・330アリーナでできます。

●人事院勧告について

月例給は平均3.0%、ボ

ー入は0.1ヶ月の引き上げを本町も勧告に準ずるとの報告を受けました。

●町財政の現状について

令和7年度予算編成方針の説明を受け、令和6年度当初予算と令和7年度財政推計との比較により、8.7億円の収支不足が見込まれるとの説明がありました。

・歳入面で町税は堅調に推移し、令和7年度も期待されますが、原油価格や物価高騰の影響のため不透明な状況です。

・歳出面では社会保障経費や人件費などの義務的経費の増加など、経費増で財政の硬直化が懸念されます。

●北方領土対策について

12月にアピール行進・政府要請行動・街頭啓発（北方領土展）を実施する旨の報告を

受けました。

経済部

●多文化共生推進事業について

国際交流員（CIR）2名の着任・活動状況の報告を受けました。

委員 日本語学校生徒との交流や生活支援などの活動はありますか。

担当 生活支援や相談対応などを行い、技能実習生や特定技能外国人のほかに、留学生の相談対応も行つ予定です。

●外国人財誘致推進事業について

令和6年5月10日に実施されたキルギス共和国の中標準PRセミナー概要と、インドネシア共和国のPRセミナーや関係者誘致事業内容の説明

を受けました。

委員 来年度、キルギスから日本語学校への入学希望者多数とありますが、卒業後進学する方が多く定住にはつながりません。町内に就職・定着につながる取組はあります。

担当 現在はキルギス政府認定の就労送出し機関がありませんが、留学をきっかけに就労向けの人材供給の可能性や、親日と農業が盛んな国情から就農等につながることを期待します。

●農業振興について

(1)エゾシカ対策について

本年度エゾシカ有害駆除実績(5月～10月)の捕獲頭数・利活用率の説明を受けました。

委員 エゾシカによる農業被害・被害面積が増えているのに対し、捕獲頭数が減少しているのはなぜですか。

担当 本年度はヒグマ対応に人と時間が費やされたのが原因と思われる

れます。

(2)ヒグマ対応について
ヒグマ出没時の連絡・対応体制と出没・出動・駆除情報の説明を受けました。

委員 市街地の出没が増えていきます。児童への対処法などの教育はどうしていますか。

担当 知床財団の教材を借りて、実施しています。

(3)野犬対応について

近年増加している野犬の牛への被害・捕獲檻貸出状況・野犬保護の説明を受けました。

委員 野犬による牛への被害が、ヒグマ被害よりも大きくなっています。捕獲檻では捕獲できないようですが、何か対応を考えていますか。

担当 捕獲がより見込まれるサークルトラップの導入を検討しています。

委員 ボランティアの保護経費はどうなっていますか。

担当 要した経費は、町で対応し

建設水道部

ています。また、野犬を増やさな
いたため農家の協力が重要なことか
ら、農協だよりに掲載される予定
です。

●緑ヶ丘森林公園キャンプ場について

リニューアル整備の進捗状況の説明を受けました。

キャンプ場 リニューアル整備内容とイメージ (鳥瞰図)



※図はイメージ
その他：伐木442本(R6)、バーベキュー棟LED(R6)、浄化槽(R6)、給排水管(R6)、入口看板(R6)、案内看板5箇所(R6)など

委員会開催
10月28日

11月28日

(長瀬 豊 議員)



⑤新・園内道路 (R6)



⑥新・トイレ棟、炊事 (R6)



①新・バンガロー (R4)



②新・ライダーズサイト (R6)



文教厚生常任委員会

活動レポート



町立病院

●管理運営について

令和6年度10月の入院患者数は3445人、1日の平均患者数は111.1人、診療収入は前年同月との比較では2929万2千円の増となり、外来の患者数・診療収入はそれぞれ予算と比較して減少しているものの、入院・外来の診療収入合計は3億1042万6千円で、予算と比較すると2944万8千円増加しているとの報告を受けました。

委員 精神科の診療体制はどのようになっていますか。

担当 常勤医が来年10月頃まで産休に入り、出張医師による週1回の診療体制が継続されます。しかし、新規患者の受け入れは難しい状況です。

委員 内科の外来診療で待ち時間緩和のためオンライン診療

療導入の考えは。

担当 内科でのオンライン診療は難しいと判断しています。

委員 看護師の採用と退職の状況は。

担当 令和6年度の退職は、昨年度末からで5名、採用は現在まで5名です。

委員 こどもクリニック閉院による小児科外来への影響は。

担当 流行病の際に患者数は若干増えますが、通常診療では大きな影響は感じていません。しかし、ワクチン予防接種は倍に増えている状況です。

町民生活部

●子育て支援事業について

第3期子ども・子育て支援事業計画案（令和7年度～令和11年度）の概要の説明とアンケート調査結果に基づく施策の方向性の具体的な支援内

容の報告を受けました。

委員 アンケート調査の「小児医療費の無償化・助成」の項目を選択した割合が55.3%と一番高いですが、基本目標に反映されていますか。

担当 乳幼児医療費の助成については、現在道の基準で実施しているところです。無償化については協議を重ねています。

●住民生活・環境衛生事業について

(1) 根室北部広域ごみ処理施設整備の方針について

現在、広域連合で運用しているごみ処理施設の規模は、日量最大62トン（31トン×2炉）の焼却で24時間運転しています。

処理方法は、流動床式ガス化溶融炉を採用し、施設を延命化する場合と新たな施設を整備する場合の比較検討の報

告を受けました。

委員 基本的に施設延命化流動床式を進めていく方向性でいくのですか。

担当 12月広域連合議会の中で4町としての方向性に触れられると思います。

(2) 地域公共交通の再編方針と現状について

町内循環バス路線の見直しや、町営バスの予約に応じて自宅付近まで送迎を行うことが可能なデマンド交通への転換に向けた路線編成の協議状況について報告を受けました。

委員 南線の経由地は交通センター～東団地～フレスポ方向へ運行すると、利用者は東19条通りを横断して乗り降りすることになります。交通量が多く、別な方法を検討できませんか。

担当 町内バス停が片側だけの場所は多々あります。今

中標津市内線

路線名※1	便数※2	所要時間	主な経由地	運行事業者
南線	13 便	28 分	交通センター～東団地～フレスポ～白樺団地～東武・町立病院～交通センター	阿寒バス(株)
東線	6.5 便	24 分	明生～東中団地～役場～交通センター～東武・町立病院	町営 (日東交通(株))
西線	6.5 便	25 分	りんどう園～川西・西町～泉団地～交通センター～東武・町立病院	

※1 路線名は仮名です。

※2 南線は循環路線、それ以外は往復での便数。また、最大の便数を見込んでいます。

後、バス会社と運行ルートを実際に走ってバス停の確認と新設の必要性を判断していきます。

委員 バス停の名前を今に合った名称に変えてはどうですか。

担当 今に合った名称に変更する方向で協議会に提案していきます。

町内バス路線

路線名	便数※3		所要時間	主な運行区域※4	運行事業者
	通学	通常			
俣落線	2 便	2 便 (週 2 日)	約 55 分	青葉台、俣落、西竹(一部)	町営 (日東交通(株))
武佐線	2 便	2 便 (週 2 日)	約 45 分	北中(一部)、俵橋(一部)、武佐、開陽、	
養老牛線	2 便	2 便 (週 1 日)	約 90 分	計根別(一部)、西竹(一部)、養老牛、上標津	

※3 通学便は、平日毎日運行を予定(朝、夕)

⇒毎年度、高校生での利用者を把握し、必要経路のみを運行する

※4 運行区域は、現在の町営バス路線のルートを軸に検討中

●**根室北部広域連合議会の報告**

議会選挙をまじかに控えた7月、広域連合の議会が招集され、耐用年数が近づく現在の焼却炉に対して、現在地における延命化を図る2方式と新たに場所を変えて新設する2方式について説明され、4町に今後の方向性を議論していた。だいたい旨、広域連合長より発言

がありました。

当時の厚生常任委員会として、長期的には生ごみの石油使用による焼却を是認するものではありません。

しかし、過渡的措置として現在のガス化溶融炉の改修よりコストが低く二酸化炭素の発生量を13・8%削減できる流動床型焼却炉で現在地のまま改修工事が望ましいとの合意の下、選挙後の文教厚生常任委員会に申し送ったところでした。

11月29日に広域連合議会運営委員会が開催され、処理方式の説明後質疑が行われました。

流動床型焼却炉はガス化溶融炉と比較し①処理残渣が643トンから更に533トン増加。②その処理費用は計画全体に与える影響は少ない。③改修期間中およそ3000トンのごみを他の施設で処理してもらわなければならない。

以上の説明を受けましたが、了承の方向で議論を終えました。

その後、12月5日の広域連合議会で審議終了後に連合長から挨拶があり、流動床型焼却炉の方向で、今後も構成町の意見を聞きながら実現に向けて進んでいく旨の発言がありました。

ライフサイクルコスト (単位：千円、税抜)

区 分	工事費 一般財源	運転維持 管理費	合 計	コスト差
施設延命化(1)(ガス化炉)	2,410,280	15,701,774	18,112,054	3,586,051
施設延命化(2)(流動床炉)	2,672,340	12,749,774	15,422,114	896,111
新設(1)(全連続)	3,519,267	11,006,736	14,526,003	—
新設(2)(准連続)	5,178,424	11,139,736	16,318,160	1,792,157

委員会開催 10月23日

11月26日

(佐久間ふみ子議員)

令和6年10月から12月までの活動報告

月 日	行 事	出席者	月 日	行 事	出席者
10月1日	文教厚生常任委員会	全 委 員	25日	決算審査特別委員会(総務経済分科会)	関 係 委 員
2日	総務経済常任委員会	全 委 員		決算審査特別委員会(文教厚生分科会)	欠 席 1 名
3日	議会運営委員会	全 委 員		決算審査特別委員会	正副委員長外2名
4日	9月定例会本会議(2日目)	全 議 員	26日	文教厚生常任委員会	欠 席 1 名
	決算審査特別委員会	全 委 員		中標津町表彰式	副議長外13名
	全員協議会	全 議 員		北海道町村議会議員公務災害補償等	議 長
	正副委員長会	二 常 任 正 副 委 員 長		組合臨時会(札幌市)	
	中標津町暴力追放運動推進協議会通	副 議 長		北海道町村議会議長会理事会(札幌市)	議 長
	常総会		27日	議会運営委員会	全 委 員
10日	道東4地区管内町村議会議長会連絡	議 長	28日	中標津農業高校校内実績発表大会	議 長
	会議(白糠町・釧路市)			決算審査特別委員会	欠 席 1 名
11日	中標津町表彰式選考委員会	関係議員3名		総務経済常任委員会	全 委 員
14日	伊東内閣府特命担当大臣視察時懇談	議 長	29日	栗山町議会議会改革推進会議調査研	議 長
	(根室市)			究視察	議会運営委員会
	伊東よしとか出陣前夜式(釧路市)	議 長		根室北部廃棄物処理広域連合議会議	正 副 議 長
15日	鈴木たかこ後援会事務所開設・出陣	議 長		会運営委員会	
	式(釧路町)			議会広報特別委員会	全 委 員
	議会広報特別委員会	全 委 員	30日	北方領土返還要求中央アピール行動	議 長
16日	議会広報特別委員会	全 委 員		に伴う議会交流会(東京都)	
17日	決算審査特別委員会(総務経済分科会)	関 係 委 員	12月1日	北方領土返還要求中央アピール行動	議 長
	鈴木貴子候補予定者の中標津町での	議 長		「アピール行進」(東京都)	
	「ダルマの目入れ・第一声」		2日	北方領土返還要求中央アピール行動	議 長
18日	決算審査特別委員会(文教厚生分科会)	関 係 委 員		「政府要請」(東京都)	
20日	鈴木貴子根室内陸4町総決起大会	議 長	4日	決算審査特別委員会	欠 席 1 名
22日	議会広報特別委員会	全 委 員		12月定例会議件事前説明	正副議長・議会運営委員
	中標津町秋の植樹	議 長 外 4 名		議会運営委員会	全 委 員
	りんどう園理事長来庁	議 長	5日	中標津町外2町葬斎組合・根室北部	関 係 議 員
23日	文教厚生常任委員会	全 委 員		消防事務組合・根室北部廃棄物物処	
24日	北海道中小企業家同友会くしろ支部	議 長 外 6 名		理広域連合・根室北部衛生組合 各	
	南しれとこ地区会10月例会			議会定例会	
25日	根室町村議会議長会主催議員研修会	議 長 外 13 名	9日	総務経済常任委員会	全 委 員
	(羅臼町)			文教厚生常任委員会	欠 席 1 名
28日	総務経済常任委員会	全 委 員		議会運営委員会	全 委 員
29日	議会モニター会議	欠 席 1 名		12月定例会本会議(1日目)	欠 席 1 名
30日	正副委員長会	二 常 任 正 副 委 員 長		議員会役員会	欠 席 1 名
31日	根室地方森林・林業・林産業活性化	高橋林活会長		全員協議会	欠 席 1 名
	推進議員連盟協議会研修会(羅臼町)	外 8 名	10日	文教厚生常任委員会	欠 席 1 名
11月11日	決算審査特別委員会(総務経済分科会)	関 係 委 員	11日	総務経済常任委員会	全 委 員
12日	決算審査特別委員会(文教厚生分科会)	関 係 委 員	12日	議会運営委員会	全 委 員
13日	町村議会議長全国大会(東京都)	議 長	13日	12月定例会本会議(2日目)	欠 席 1 名
14日	根室町村議会議長会行政視察(長野県)	議 長		全員協議会	欠 席 1 名
15日	表敬訪問(道内選出国会議員)	議 長		正副委員長会	二 常 任 正 副 委 員 長
16日	東京中標津会総会・懇親会(東京都)	議 長 外 3 名	17日	議会広報特別委員会	全 委 員
19日	中標津飲食業連合会包丁供養祭・懇	議 長	18日	議会広報特別委員会	全 委 員
	親会		19日	根室町村議会議長会臨時総会	全 正 副 議 長
20日	決算審査特別委員会	全 委 員	22日	道東自動車道開通記念式・鉄入れ式	議 長
	議会運営委員会	全 委 員		・通り初め・記念祝賀会(釧路市)	
23日	札幌中標津会総会・懇親会(札幌市)	副議長外3名	26日	別海町議会議員定数等調査特別委員	議 長・議会運営
	中標津町軟式野球連盟納会	議 長		会視察	委員・外3名
				中標津消防団歳末警戒	議 長

議会だよりをお読みの皆様へ

限られた誌面の都合上、掲載できない下記開催の議会内容は、
中標津町議会ホームページからご覧いただけます。

●広域連合・一部事務組合の議会(12月5日開催)



議会だよりに対するご意見をお寄せください。

〒086-1197 北海道標津郡中標津町丸山2丁目22番地

中標津町役場 議会事務局

TEL (0153) 74-0912

FAX (0153) 73-5333

〈議会事務局にご連絡を〉

・ホームページは <https://www.nakashibetsu.jp>

・メールは gikai@nakashibetsu.jp



ご意見はこちらから

発行／北海道中標津町議会

編集／議会広報特別委員会